



かどわきっ子

2学期に備えて

数年前までは、お盆を過ぎると秋の気配が少しずつ感じられていましたが、今年の夏も猛暑、いやいや酷暑という感じで、8月の下旬を迎えても暑い日が続いています。

早いもので、始まるときは長いなあと思っていた夏休みも、残すところ12日となりました。今年の夏休みは、いかがだったでしょうか。「充実していたなあ。」という方も、「計画通りにはいかなかったなあ。」という方も、同じように残りは12日間です。残された日々を充実させ、2学期の学校生活をスムーズにスタートさせるためにも、以下の点を参考にいただければと思います。

1 生活のリズムを見直す

学校生活が始まると、6:30起床、そして朝食。16:00頃に帰宅して、宿題や次の日の準備。2学期は、月曜日から始まり、5日間続きます。8月31日まで、ゆっくりとした生活をしているお子さんには、精神的にも体力的にもとても辛いことが予想されます。ぜひ、残りの日々で生活リズムを戻してください。

2 暑さへの耐性を高める

まだまだ日中は暑い日が続きます。教室には冷房を入れていますが、登下校や昼休み、体育の学習など暑さに耐えるだけの体力が必要です。適度に汗をかく生活をさせ、暑さに耐えられる体づくりをお願いします。

3 宿題をやり遂げる

夏休みの宿題をやり遂げることが、2学期の学習をスムーズにスタートするための準備運動です。そして、スッキリとした気

持ちで始業式を迎えるためにも欠かせないものです。合わせて、学習用具の点検・補充等もお願いします。

お願い事ばかりですが、お子さんが2学期を気持ちよく過ごすために不可欠なものばかりです。御協力と御配慮をお願いいたします。

ちょっとフレイク

今年の夏は、現在開催されているパラリンピックやオリンピックに一喜一憂しました。たくさん感動をいただきました。選手たちの表情を見ると、どれだけの思いを込めてきたのかを思い知らされます。

しかしながら、代表辞退や勝敗の結果、運営の不手際や文化の違いなど多くの件で、相手のことを思わないような身勝手な、そして無責任な発言を多く目にしたことも事実です。

現在は、通信機器や環境の整備によって、すべての人が、自分の考えを瞬時に全世界に伝えることができます。日本も、一億総評論家の時代です。しかし、SNSでの自分の「つぶやき」や「いいね」のタップに責任を感じている人がどれだけいるのでしょうか。

日本という国は、いつから相手のことを慮(おもんばか)ることのできないようになってしまったのでしょうか。相手が目の前にいると言えないけど、陰で寄ってたかって言う。まるで「いじめ」のように見えてなりません。

こんなとき、私たち大人は、子どもたちに何を伝え、何を考えさせなければならないのか。家庭と学校が、同じ方向を向いて子どもたちを育てていきたいものです。

実は、このことをお伝えしようと構想したのが7月29日のことでした。その後、批判的な投稿は過激化していましたが、そのことを否とする論評が多く上がったことをうれしく思うとともに、少しの安堵感も覚えました。